

1 1 月定例教育委員会 会議録	
日 時	令和6年11月13日（水） 午後3時00分～午後3時15分
場 所	本庁舎 9階 会議室9-2
出席委員	松田教育長・市川職務代理者・末木委員・塚越委員・上原委員
出席事務局職員	飯田教育部長・岡部教育総室長・依田生涯学習室長（歴史文化財課長兼任）・藤本総務課長・風間学校教育課長・山本学事課長・浅井教育施設課長・新堀甲府商業高等学校事務長・千野甲府商科専門学校事務長・樋田生涯学習課長・長田スポーツ課長・青木図書館長・宮崎総務係課長補佐・菱山総務係課長補佐
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	
・教育委員あいさつ	
・会議録署名委員の氏名 市川職務代理者	
・10月定例会及び臨時会会議録の承認 原案のとおり承認	
松田 塚越市川 上原末木	
1 開会 松田教育長 これより11月定例教育委員会を開会いたします。 （１） 教育委員あいさつ 市川職務代理者 皆さん、こんにちは。11月に入りまして、ようやく暦に見合った気候となってきたような気がします。立冬は過ぎましたが、読書の秋後半という感じだと思っております。 読書週間は先日終わったわけですが、灯火親しむという言葉があります。御存知の方も多いと思いますが、これは九世紀の唐の時代に、詩人であり役人であった韓愈という人が、息子の符という人に学問の心得のようなものを諭した詩の中に出てくるわけです。「時秋にして積雨はれ。」とか、「灯火ようやく親しむべく、簡編巻舒すべし。」というような言葉が出てきます。これを夏目漱石が三四郎という小説の中で引用して、そこから先、読書の秋ということが言われるようになったというような話があります。 とは言いますが、昨今は活字離れなどよく言われています。文化庁の全国の16歳以上の男女6,000人を対象にした令和5年度「国語に関する世論調査」によれば、1か月に読む本の冊数を聞いたところ、「読まない」という人が62.6パーセントで最も多く、「1,2冊」が27.6%。過去の調査結果と比較しますと、「読まない」という割合が約15ポイント増加して	

いるということです。

これは紙ベースの書籍の話だと思いますが、ただ読書量の変化としては、「減っている」が69.1パーセント、「それほど変わっていない」が24.5パーセントということになりまして、過去の調査と比較して、それほど大きな変化はなかったということなんですね。

また、電子書籍と紙の本と、どちらを多く利用するかという質問では、「電子書籍しか読まない」という人が7.9パーセント、「電子書籍の方が多い」が40.5パーセントで、約半数の方が電子書籍派であることがわかりました。過去の調査と比較すると、平成30年度に比べ「電子書籍のほうが多い」という方が13.3ポイント増加していたということなんですね。

一方で、経済産業省の調査では、紙媒体の出版は減少傾向にあるということですが、電子出版が伸びていて、市場全体としては、さほど深刻な状況ではないという分析もあります。

あくまで私が感じたことですが、どうやら紙媒体の出版物の利用は減少傾向だが、それは必ずしも、文字で表現されたものを読まなくなったということではないのではないかと思います。少し前までは、例えば電車の中とか、病院等の待合室、そういった所で文庫本を開いている人が結構多かったと思うんですが、今はもう化石のような感じですよ。ほとんどの方がスマホを眺めている風景になったと思います。ただ、そういう人の中にも、実はスマートフォンで本を読んでいるという方が結構いるのではないかと感じています。

今日まで、学校では、ずっと長い間読書を大切にしてきました。また、どこの学校でも様々な方々が読み聞かせの活動を展開してくださっています。そうした中で、本を読む楽しさというのは、子どもたちに十分に感じ取ってもらえているのだらうと思っています。中国の後漢の時代に紙が発明されて、15世紀のドイツで活版印刷が行われ、今のような書籍文化というものが発展してきたと思います。電子書籍の便利さは生かしつつ、紙媒体の書籍という文化も、また、守っていく、大切にしていかなければいけないのかなということを考えたわけであります。

御清聴ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

松田教育長

本日の会議録の署名委員は、市川職務代理者をお願いいたします。

(3) 前回会議録の承認

松田教育長

10月9日定例会及び10月23日臨時会の会議録についてですけれども、何か御意見、御質問等いかがでしょうか。

御承認いただくということで、よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

松田教育長

第15号 令和7年甲府市「二十歳のつどい」の開催について

資料に基づきまして、樋田生涯学習課長から、説明をお願いします。

(樋田生涯学習課長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

御意見、御質問はありませんか。

上原委員

本件につきまして、私の感じたことを述べさせていただきます。

我が子3人が、この集いに参加いたしました。その思い出から、今回二十歳のつどいの開催の報告に深く感謝申し上げます。

無事に、すこやかに、その日を迎えられた喜びはもちろんだったんですけども、子どもたちが同級生の友人と成長を確かめあって、また、お互い祝いあっている。その光景を垣間見ましたときに、とても胸が熱くなったのを記憶しております。成人した彼らが、この集いをとおして、これからの未来を一緒に歩いていく、そのきずなを結ぶいい機会になっていると感じております。

甲府市で長く続いてきたこの企画を、前に進めていただくことを願っております。

以上でございます。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

松田教育長

その他になりますけれど、何かあるでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

松田教育長

これをもって、11月定例教育委員会を閉会します。